

「視覚探偵になって、  
作品の声を視よう！」

生徒	中学校（第1学年）
指導者	函館市立的場中学校 教諭 櫻井 純

1 題材の目標

- 作品の形や色彩などから、作品の良さや美しさ、作者の心情や意図、表現の工夫などを深く読み取る。
- 造形に関する言葉を使って他者と意見を交流する活動を通して、他者の価値観を取り入れながら自分の考えをより深める。
- アート・カードを活用し、様々な作品の表現方法に触れる。

2 題材について

普通の授業では、「5分美術館」と称し著名な作品や作家を紹介したり、作品制作の授業を行った後にそれぞれの作品を鑑賞しあう時間を設けている。しかし、作品で表現されている形や色彩などの造形要素が作品全体にどのような効果をもたらしているかを具体的な言葉で考えたり整理したりすることが苦手な生徒が多く、作者の心情や意図を深く読み取れず、表面的な学習活動で止まっているように感じている。

本題材では、「共通事項」を踏まえて形や色彩などの造形要素から作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取り、それらを造形に関する言葉を使って考えたり整理しながら具体的に読み取る力を高め、作品の見方や感じ方を広げることをねらいとする。今までのように漫然と鑑賞をするのではなく、明確な視点を持って鑑賞することで感じ方を深めるとともに、自分の思いや考えを説明したり交流する活動を通してコミュニケーション能力やお互いを理解し合おうとする姿勢も育てたいと考えている。

また、本時ではアート・カードを活用し、ゲーム性をもたせながら授業を展開することで、より生徒の学習意欲や学習効果が深まることを期待している。

3 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
作品を鑑賞し、作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取り、造形に関する言葉を用いて伝えようとしている。			作品の造形的な良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の価値観を持って味わおうとしている。

4 本時の目標

- 本時の目標を理解し、積極的に取り組もうとする。
- 造形要素から作者の心情や意図、表現の工夫などを読み取り、造形に関する言葉を用いて作品の良さや美しさを考えたり説明したりすることが出来る。
- 意見を交流する活動を通して、他者の価値観を取り入れながら自分の考えを深めることが出来る。

## 5 本時の展開案

	学習内容	教師のかかわり	◆ 指導上の留意点 ◇ 評価規準（方法）
導入	<p>○学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">『視覚探偵になって、作品の声を視よう！』</div>	○目標を提示し、本時の活動を意識させる。	
展開	<p>○アート・カードから一枚選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ作品を見て、感じたことや気づいたことを付箋に書く。</li> <li>・付箋を作品の写真の周りに貼っていく。</li> </ul> <p>○アート・カードをグルーピングして、共通点を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「色」「形」など「事実（見た目）」の分類</li> <li>・「ワクワク」「もやもや」など「印象」の分類</li> <li>・各グループで、意見交換をしながら作者の意図や表現の工夫について、考えを深める。</li> </ul> <p>○各グループの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのグループでまとめた作品についての意見を交流し合う。</li> </ul> <p>○最初に選んだ作品について、もう一度振り返る。</p>	<p>○作品について気がついたことを書かせる。</p> <p>○それぞれが見つけた共通点を取り上げ、作品を鑑賞する視点を広げさせる。</p> <p>○既習事項を取り上げながら、「事実」から「印象」を感じ取っていることに気づかせる。</p> <p>○他者の意見を聞いて、より深く作品について考え、意見交換させる。</p> <p>○他のグループの意見を聞く。</p> <p>○感じ取ったことを明確に表現できるような声掛けを行う。</p>	<p>◇意欲的に取り組もうとする。（観察）</p> <p>◆考えがまとまりやすいような声かけや発問をしていく。</p> <p>◆理解しやすいような言葉に変換したり、補足するなどの手助けをする。</p> <p>◇意欲的に取り組もうとする。（観察）</p> <p>◇自分の感じたことを書くことが出来る。（観察、ワークシートなど）</p>
まとめ	○ 今後の活動の確認 様々な表現を通し、意図や思いを読み取り、今後の学習につながることを理解する。	○次時の確認を行い、今後の活動に見通しを持たせる。	

### ポイント！

- 「造形に関する言葉を用いて、作品の良さや美しさを考えたり説明したりする」という活動によって、鑑賞の視点を明確にするとともに、コミュニケーション能力を高めることができる。

